

ニュージーランド準備銀行は政策金利を据え置き

- ニュージーランド準備銀行(RBNZ)は政策金利を1.75%で据え置き、中立的な政策姿勢を維持する方針を示唆。
- 1-3月期実質GDPは前期比+0.5%、前年比+2.5%と市場予想を小幅下回るも、RBNZは前向きな景気見通しを維持。
- ニュージーランド政府の2017年度予算案は、財政黒字路線を維持しながら、社会福祉やインフラ投資予算を拡充。
- NZドル相場は乳製品価格上昇などに支えられ持ち直し傾向に。RBNZは過度なNZドル高をけん制する姿勢を示す。

NZ準備銀行は政策金利の据え置きを決定

ニュージーランド準備銀行(RBNZ)は6月22日の政策決定理事会において、大方の市場予想通り、政策金利を1.75%で据え置く決定を下しました(図1)。

ウィーラー総裁は声明文において、「相当な期間、金融政策は緩和的となる見込み」との言及を継続し、中立的政策姿勢を維持する方針を示唆しました。

RBNZは前向きな景気見通しを維持

ニュージーランドの2017年1-3月期の実質GDP成長率は前期比+0.5%、前年比+2.5%となり、市場予想(前期比+0.7%、前年比+2.7%)を小幅に下回りました。1-3月期は輸出や住宅投資が弱含んだものの、底堅い民間消費が景気を下支えました。

足元の景気鈍化にもかかわらず、RBNZは緩和的金融政策や力強い人口増加、交易条件の改善に支えられた前向きな景気見通しを維持している模様です。

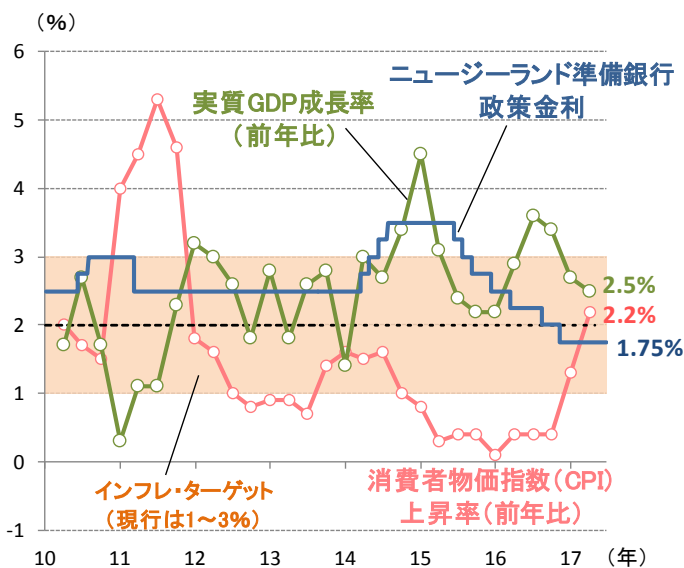
また、ニュージーランド政府が5月25日に公表した2017年度(2017年7月~2018年6月)の予算案において、財政黒字路線を維持しながら、社会福祉やインフラ投資向け予算の拡充がなされたことも、今後の景気下支え要因となるとみられています。

NZドル相場は5月中旬以降、持ち直し傾向に

NZドル相場は5月中旬以降、主要輸出産品の乳製品価格の上昇などに支えられ、持ち直し傾向にあります(図2)。NZドルの対米ドル相場は1NZドル=0.72米ドル台へ上昇し、対円相場も足元は1NZドル=80円台で推移しています。

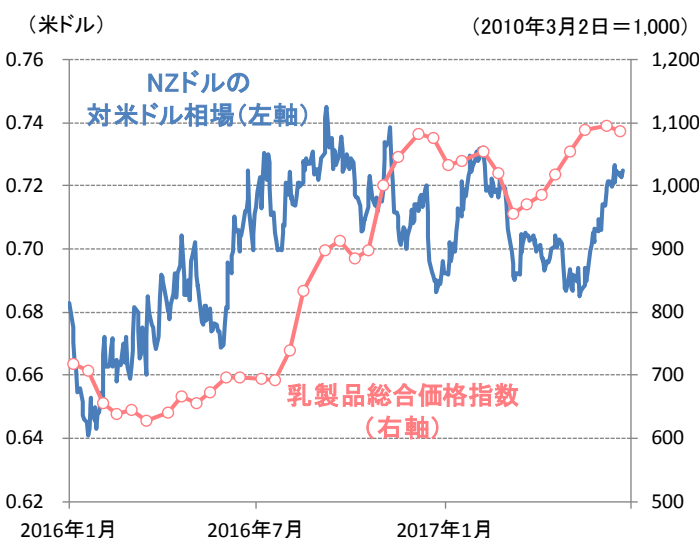
一方、RBNZは「NZドル安が進めば貿易部門の成長見通しの改善に寄与するだろう」と述べ、引き続き過度なNZドル高をけん制する姿勢を示唆しました。

図1: 政策金利とインフレ率、実質GDP成長率の推移



(出所)ニュージーランド準備銀行(RBNZ)、ニュージーランド統計局
(期間)政策金利:2010年1月1日~2017年6月22日
CPI・GDP:2010年1-3月~2017年1-3月

図2: NZドル相場と乳製品価格



(出所)ブルームバーグ、Global Dairy Trade
(期間)2016年1月1日~2017年6月21日

●当資料は、説明資料としてレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。